

令和5年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
①性別	
②年齢	
③居住年数	
④転入歴	
⑤居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価	5
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価	10
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度	15
①「こころ」育むまちの基本方針	
②「笑顔」輝くまちの基本方針	
③「暮らし」支えるまちの基本方針	
④「魅力」あふれるまちの基本方針	
⑤「未来」への責任の基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動など	20
①まちの住み心地など	
②日常の生活行動など	
③市民であることの誇りや定住意向	
(6) S D G s（持続可能な開発目標）	24
S D G s（持続可能な開発目標）の17の目標への関心	

1. 調査概要

【調査目的】

令和 3 年度から開始した第 6 次草津市総合計画第 1 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：令和 6 年 1 月 1 日（月）

【調査方法】

調査は無記名とし、令和 6 年 2 月 7 日（水）から 2 月 26 日（月）までを調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

【回収状況】

有効回答数 920 件、有効回答率 30.7%を得た。有効回答のうち、紙の調査票による回答が 556 件で 60.4%、ネットによる回答が 364 件で 39.6%であった。

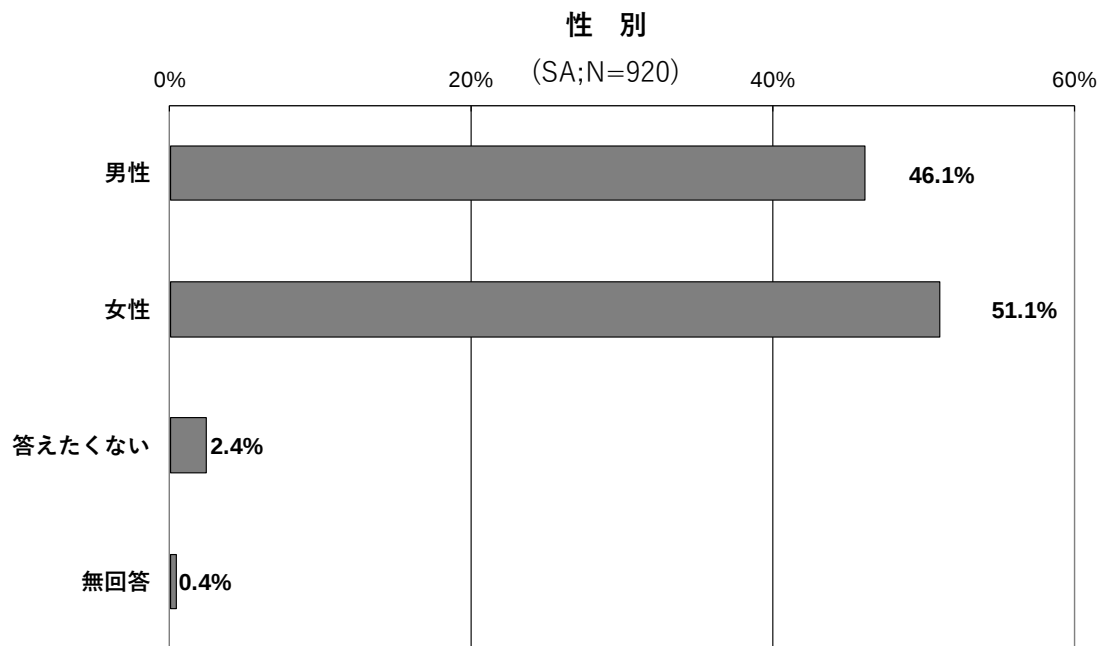
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

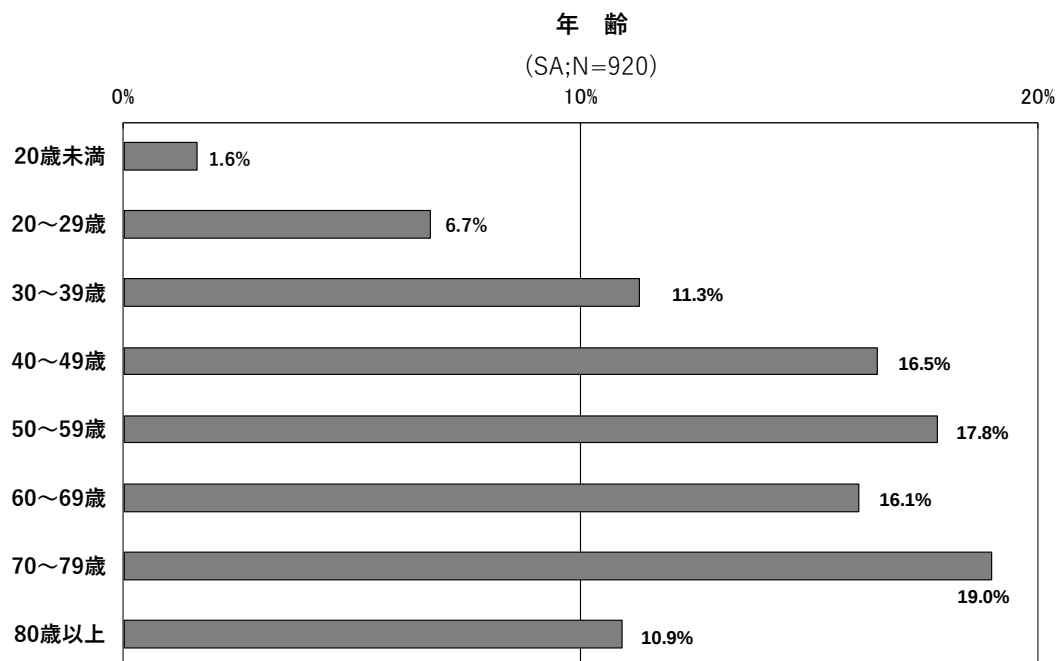
①性別

「男性」が46.1%、「女性」が51.1%、「答えたくない」が2.4%となっています。



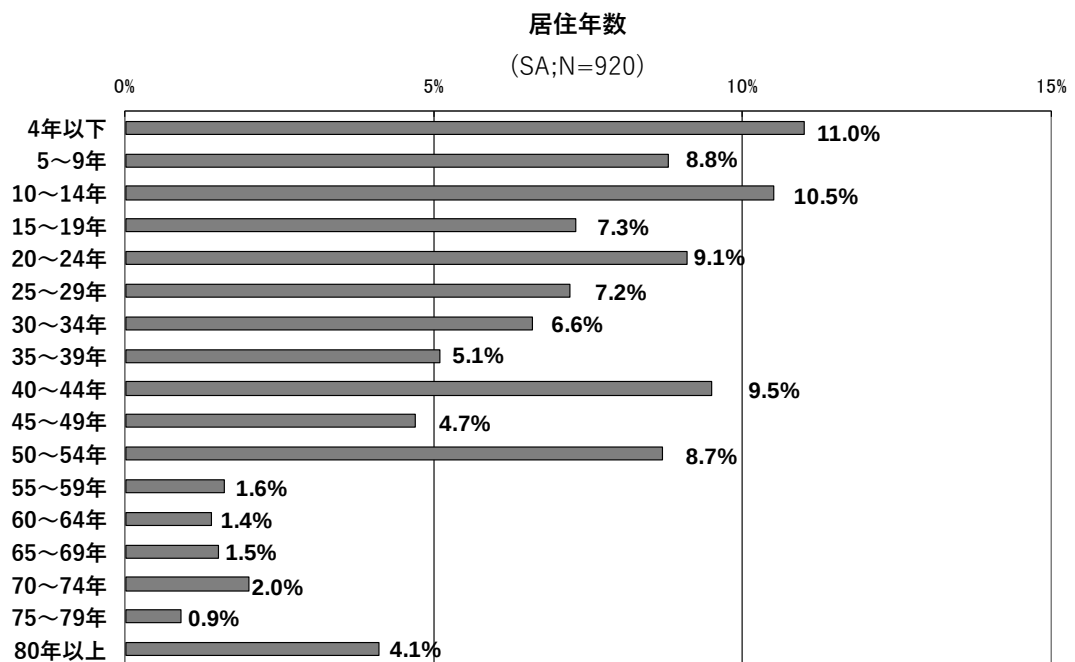
②年齢

「70～79歳」が最も多く19.0%、次いで「50～59歳」が17.8%、「40～49歳」が16.5%などとなっています。



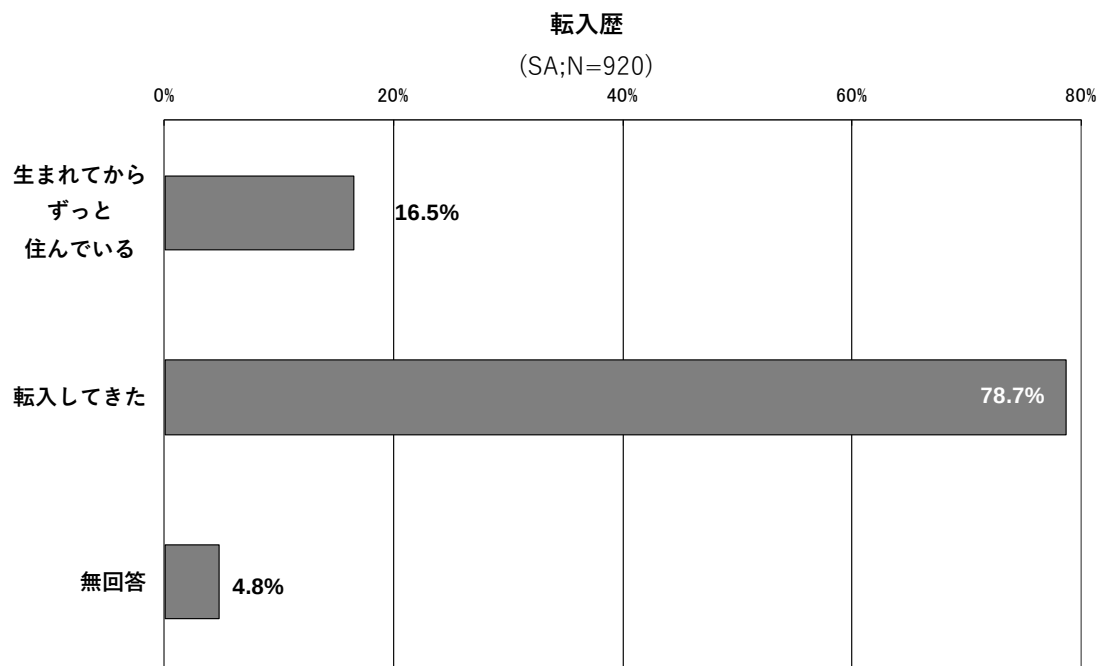
③居住年数

「4年以下」が最も多く 11.0%、次いで「10～14年」が 10.5%、「40～44年」が 9.5%、「20～24年」が 9.1%などとなっています。



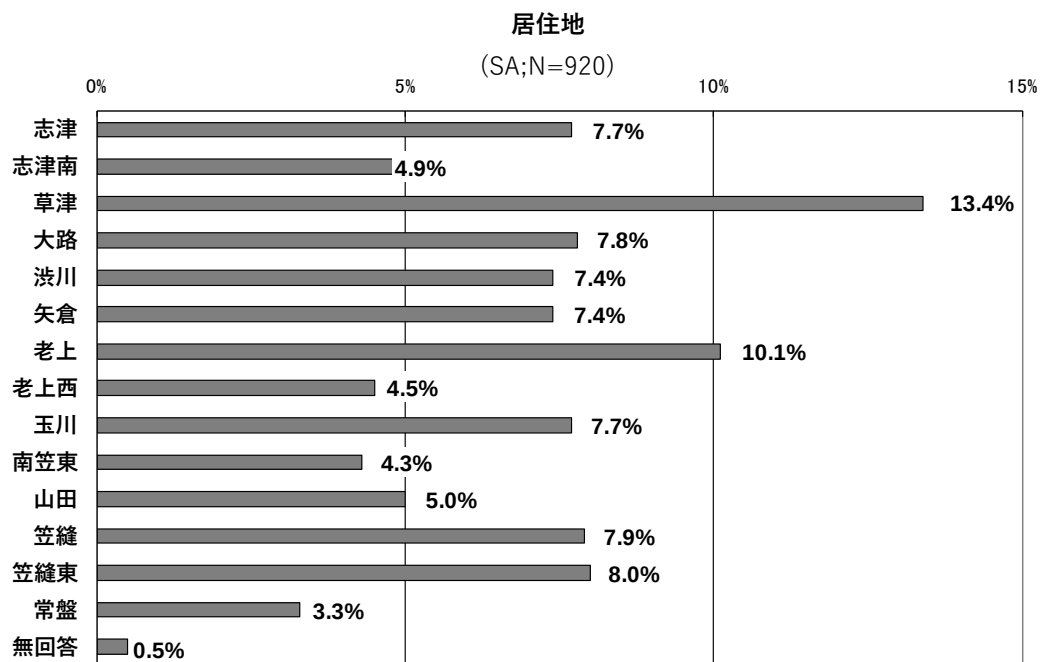
④転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が 16.5%、「転入してきた」が 78.7%となっています。



⑤居住地区

「草津」が最も多く 13.4%、次いで「老上」が 10.1%、「笠縫東」が 8.0%などとなっています。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

①「こころ」育むまちの基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 13.8%、次いで「文化財の保存と活用」が 8.6%などとなっています。

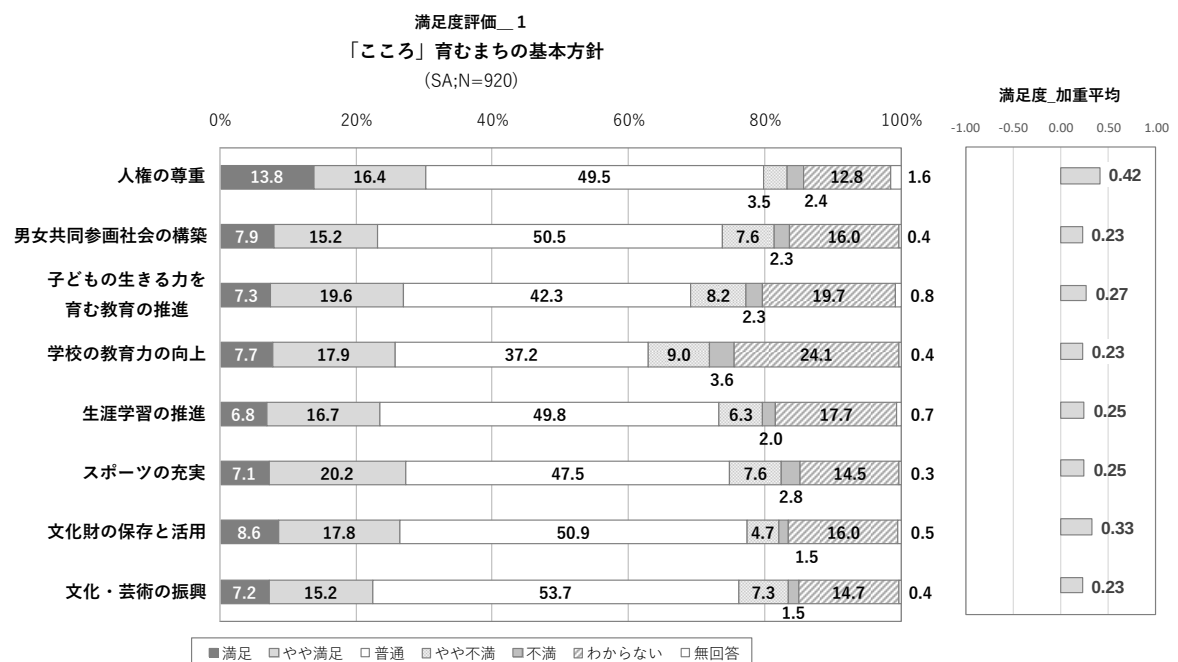
「やや満足」は「スポーツの充実」が最も多く 20.2%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 19.6%などとなっています。

「普通」は「文化・芸術の振興」が最も多く 53.7%、次いで「文化財の保存と活用」が 50.9%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 9.0%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 8.2%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 3.6%、次いで「スポーツの充実」が 2.8%などとなっています。

「わからない」は「学校の教育力の向上」が最も多く 24.1%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 19.7%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評価点を与えて平均点を求めたものである。

②「笑顔」輝くまちの基本方針

「満足」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 10.9%、次いで、「安心して子育てができる環境づくり」が 9.0%などとなっています。

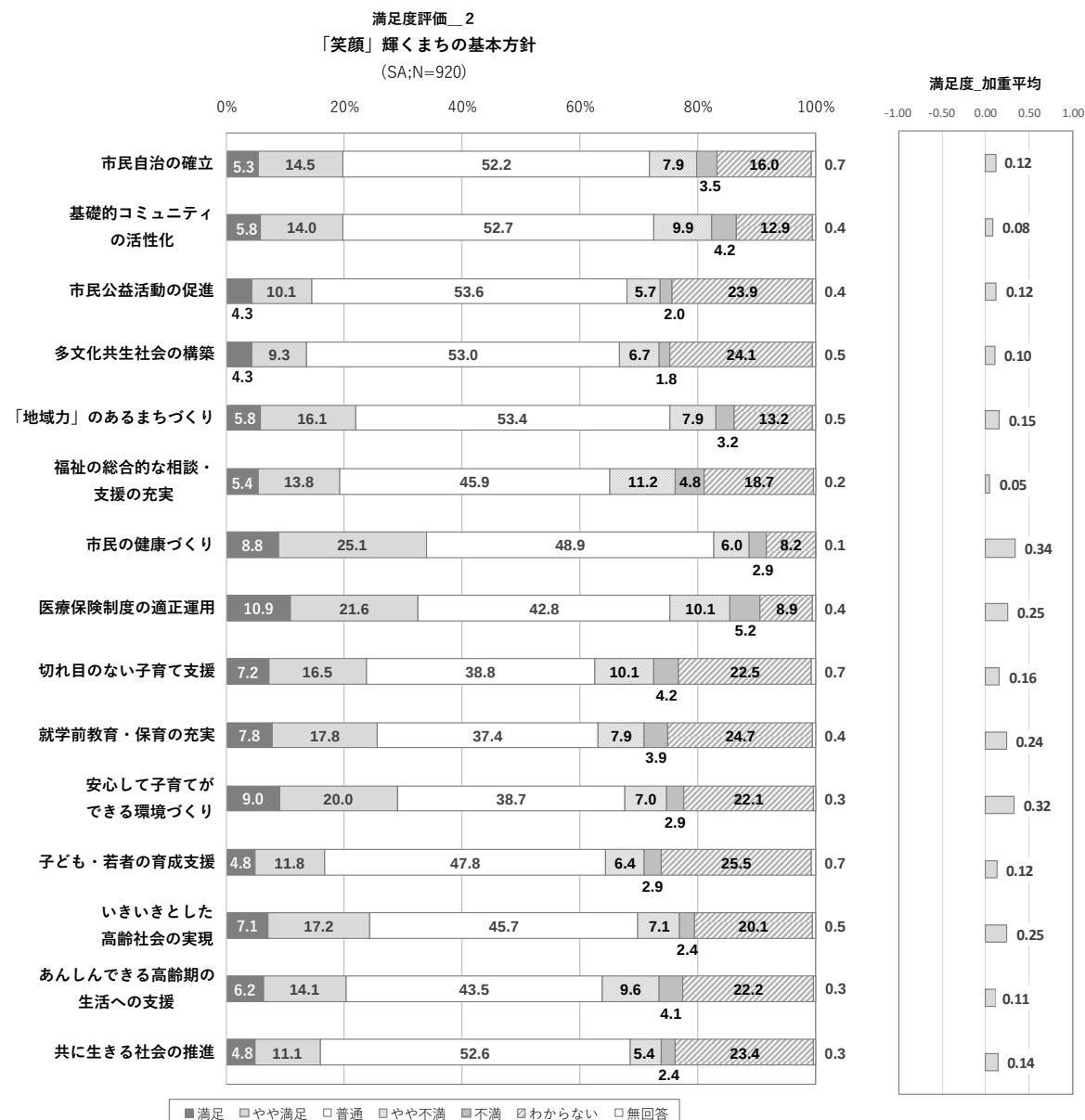
「やや満足」は「市民の健康づくり」が最も多く 25.1%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 21.6%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 53.6%、次いで『「地域力」のあるまちづくり』が 53.4%などとなっています。

「やや不満」は「福祉の総合的な相談・支援の充実」が最も多く 11.2%、次いで「医療保険制度の適正運用」と「切れ目のない子育て支援」がそれぞれ 10.1%などとなっています。

「不満」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 5.2%、次いで「福祉の総合的な相談・支援の充実」が 4.8%などとなっています。

「わからない」は「子ども・若者の育成支援」が最も多く 25.5%、次いで「就学前教育・保育の充実」が 24.7%などとなっています。



③「暮らし」支えるまちの基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 23.3%、次いで「下水道の安定運営」が 17.6%などとなっています。

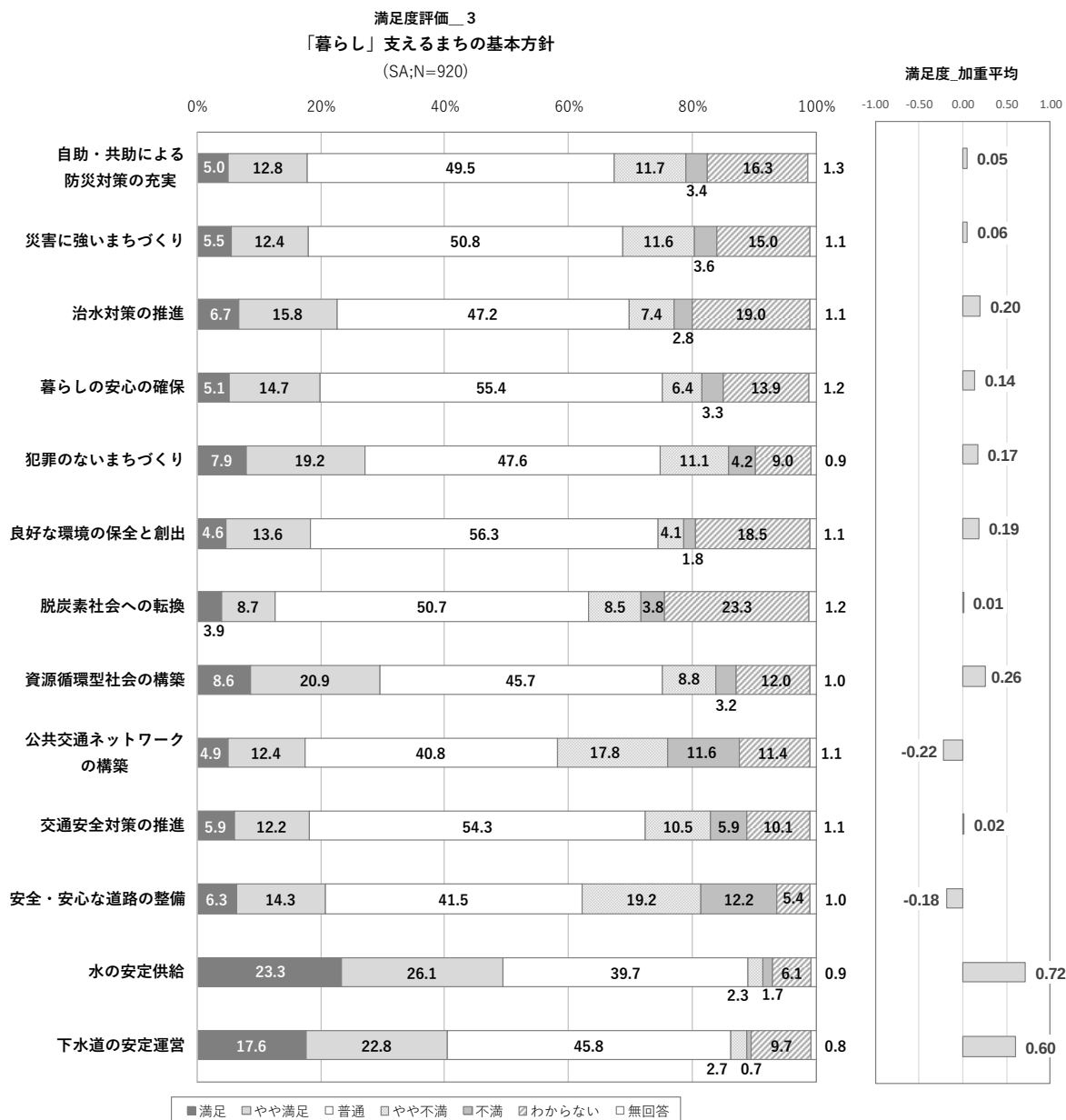
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 26.1%、次いで「下水道の安定運営」が 22.8%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 56.3%、次いで「暮らしの安心の確保」が 55.4%などとなっています。

「やや不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 19.2%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 17.8%などとなっています。

「不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 12.2%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 11.6%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 23.3%、次いで「治水対策の推進」が 19.0%などとなっています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

「満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 10.7%、次いで「中心市街地の活性化」が 9.7%などとなっています。

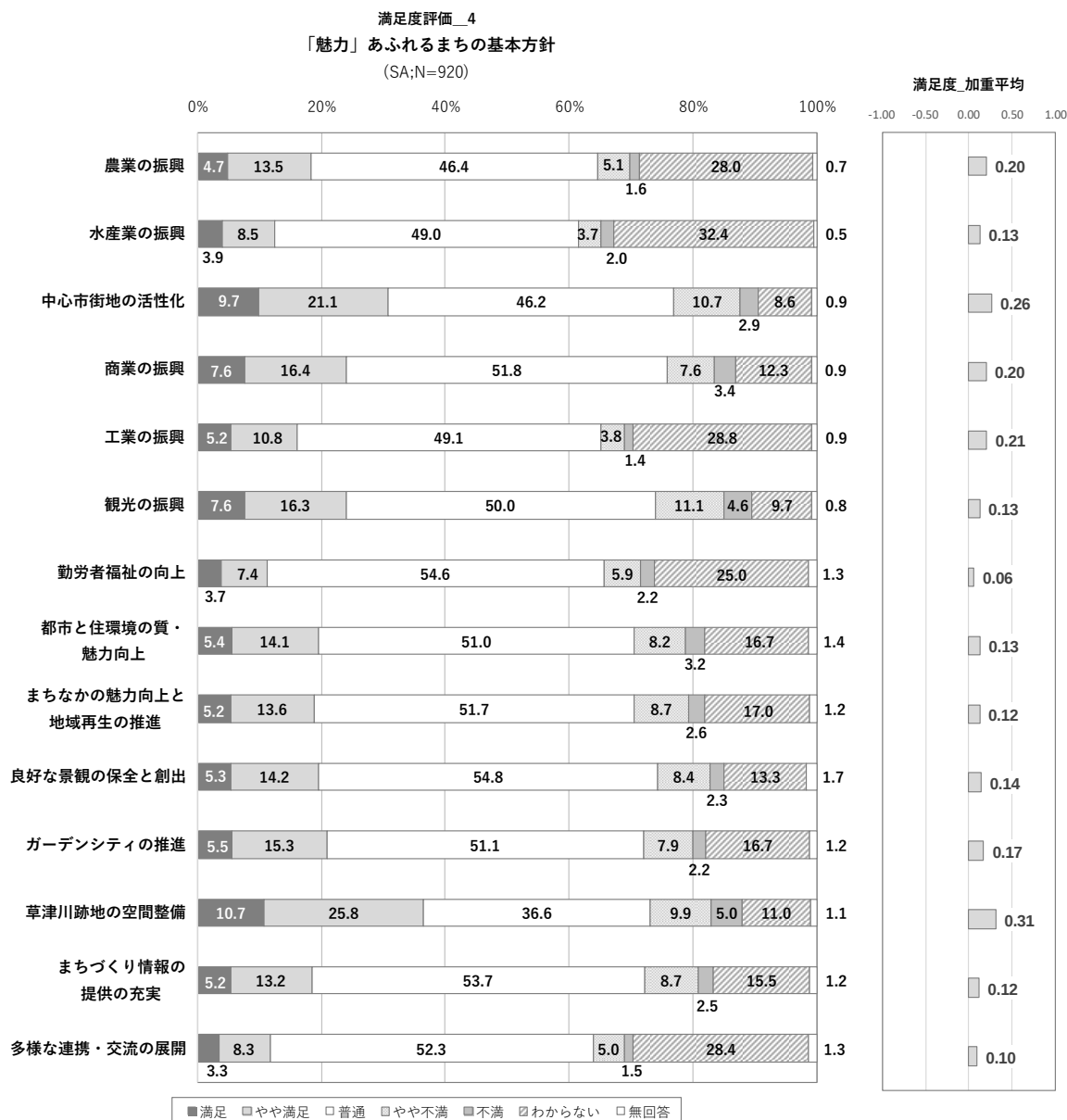
「やや満足」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 25.8%、次いで「中心市街地の活性化」が 21.1%などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 54.8%、次いで「勤労者福祉の向上」が 54.6%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く 11.1%、次いで「中心市街地の活性化」が 10.7%などとなっています。

「不満」は「草津川跡地の空間整備」が最も多く 5.0%、次いで「観光の振興」が 4.6%などとなっています。

「わからない」は「水産業の振興」が最も多く 32.4%、次いで「工業の振興」が 28.8%などとなっています。



⑤「未来」への責任の基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 5.7%などとなっています。

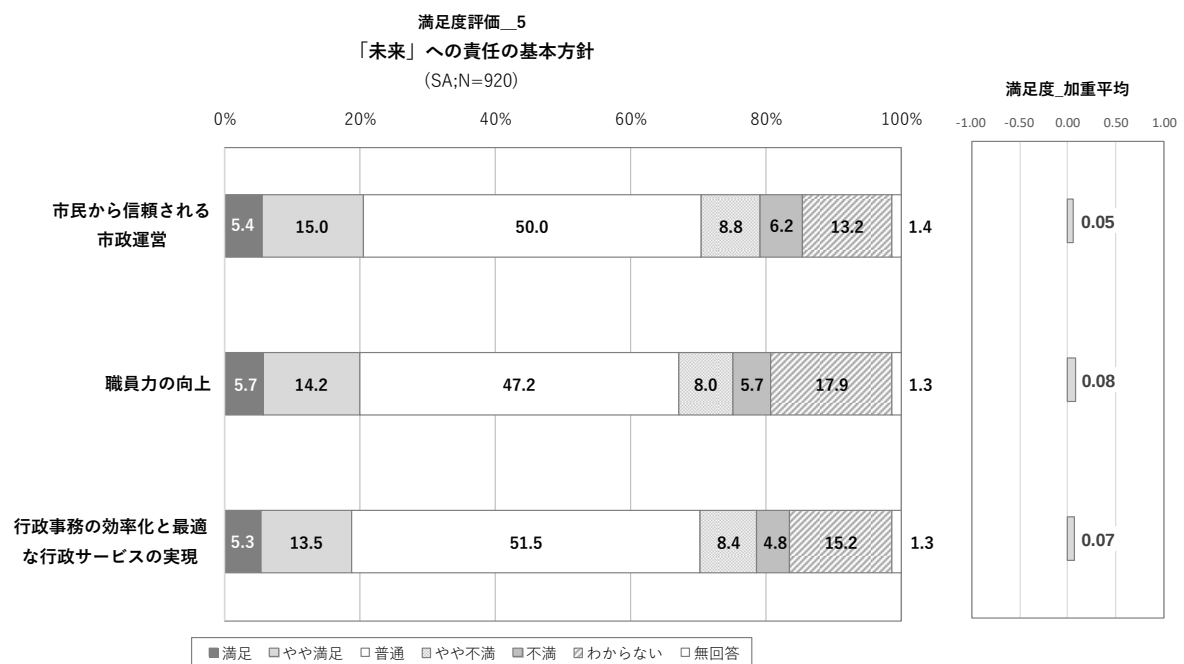
「やや満足」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 15.0%などとなっています。

「普通」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 51.5%などとなっています。

「やや不満」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 8.8%などとなっています。

「不満」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 6.2%などとなっています。

「わからない」は「職員力の向上」が最も多く 17.9%などとなっています。



(3) 基本方針別にみる重要度評価

①「こころ」育むまちの基本方針

「思う」は「子どもの生きる力を育む教育の推進」が最も多く 51.0%、次いで「学校の教育力の向上」が 49.7%などとなっています。

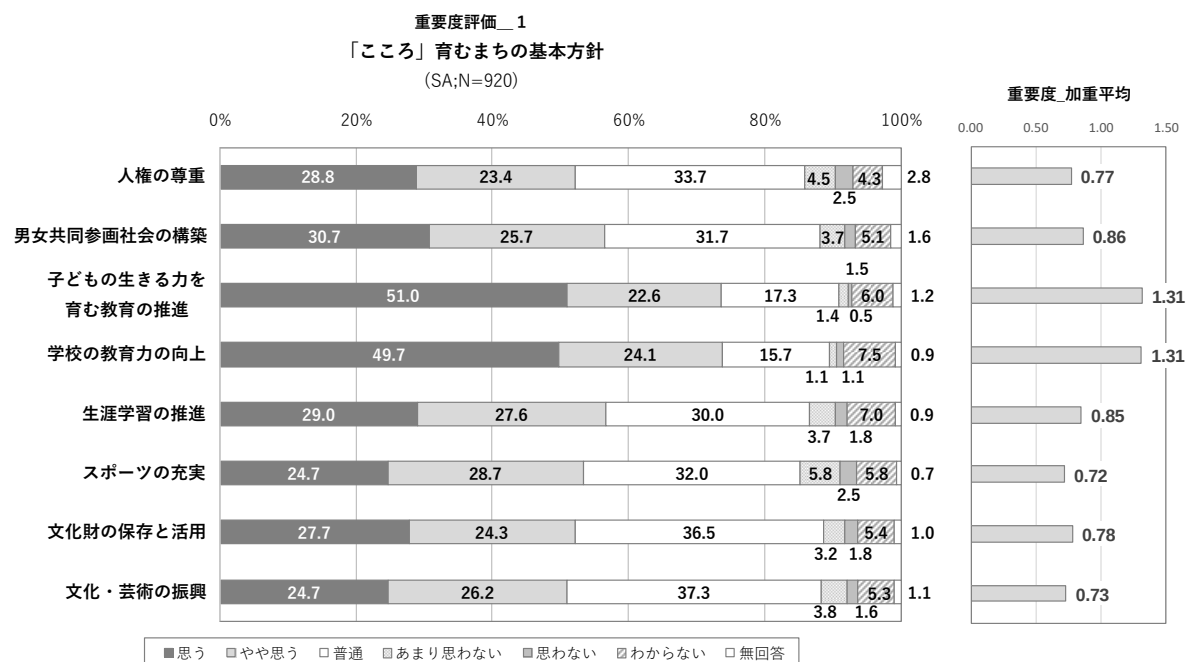
「やや思う」は「スポーツの充実」が最も多く 28.7%、次いで「生涯学習の推進」が 27.6%などとなっています。

「普通」は「文化・芸術の振興」が最も多く 37.3%、次いで「文化財の保存と活用」が 36.5%などとなっています。

「あまり思わない」は「スポーツの充実」が最も多く 5.8%、次いで「人権の尊重」が 4.5%などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」と「スポーツの充実」が最も多く 2.5%、次いで「生涯学習の推進」と「文化財の保存と活用」がそれぞれ 1.8%などとなっています。

「わからない」は「学校の教育力の向上」が最も多く 7.5%、次いで「生涯学習の推進」が 7.0%などとなっています。



加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「笑顔」輝くまちの基本方針

「思う」は「安心して子育てができる環境づくり」が最も多く 48.9%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 48.2%などとなっています。

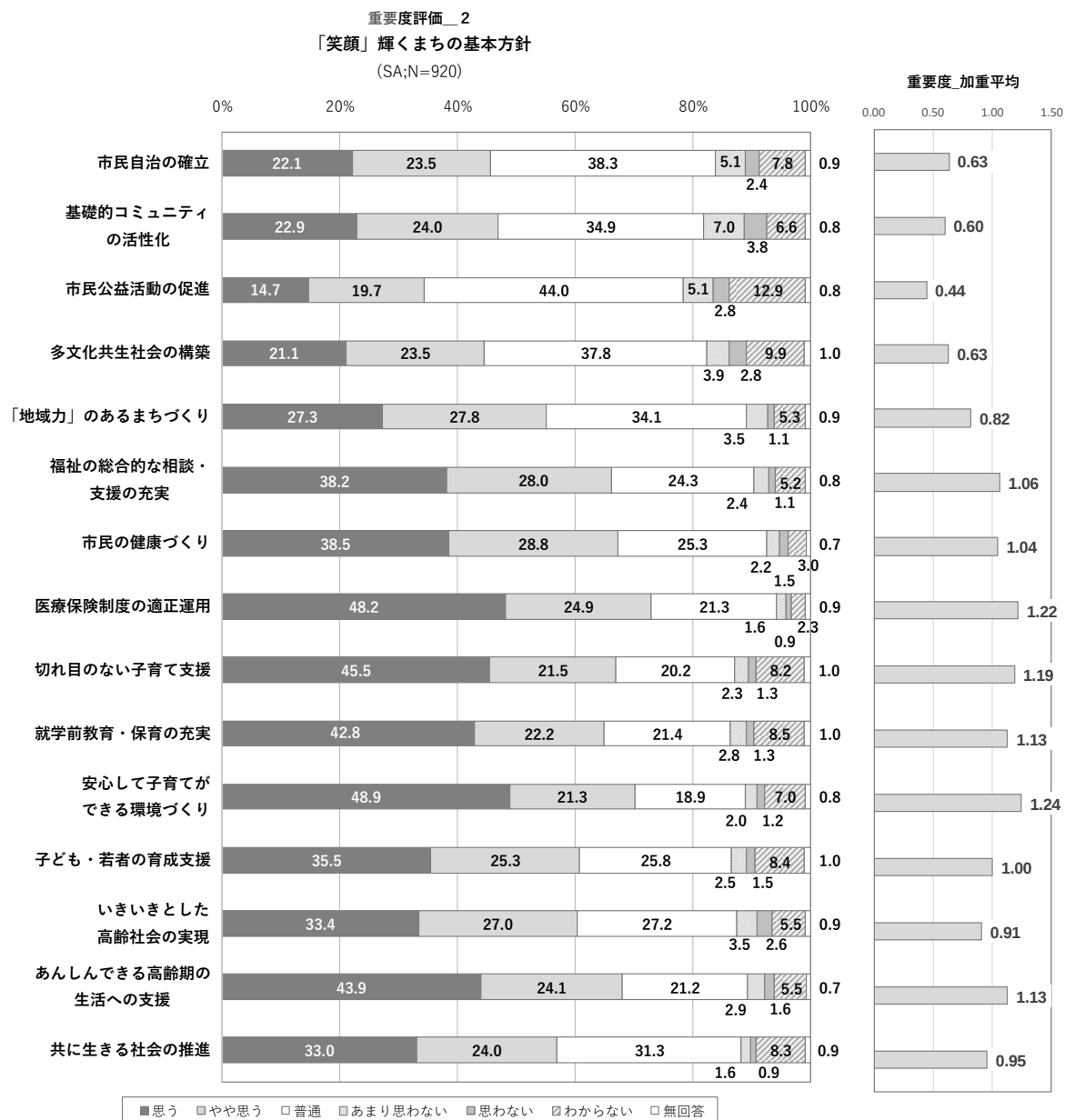
「やや思う」は「市民の健康づくり」が最も多く 28.8%、次いで「福祉の総合的な相談・支援の充実」が 28.0%などとなっています。

「普通」は「市民公益活動の促進」が最も多く 44.0%、次いで「市民自治の確立」が 38.3%などとなっています。

「あまり思わない」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 7.0%、次いで「市民自治の確立」と「市民公益活動の促進」が 5.1%などとなっています。

「思わない」は「基礎的コミュニティの活性化」が最も多く 3.8%、次いで「市民公益活動の促進」と「多文化共生社会の構築」が 2.8%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 12.9%、次いで「多文化共生社会の構築」が 9.9%などとなっています。



③「暮らし」支えるまちの基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 58.4%、次いで「災害に強いまちづくり」が 51.8%などとなっています。

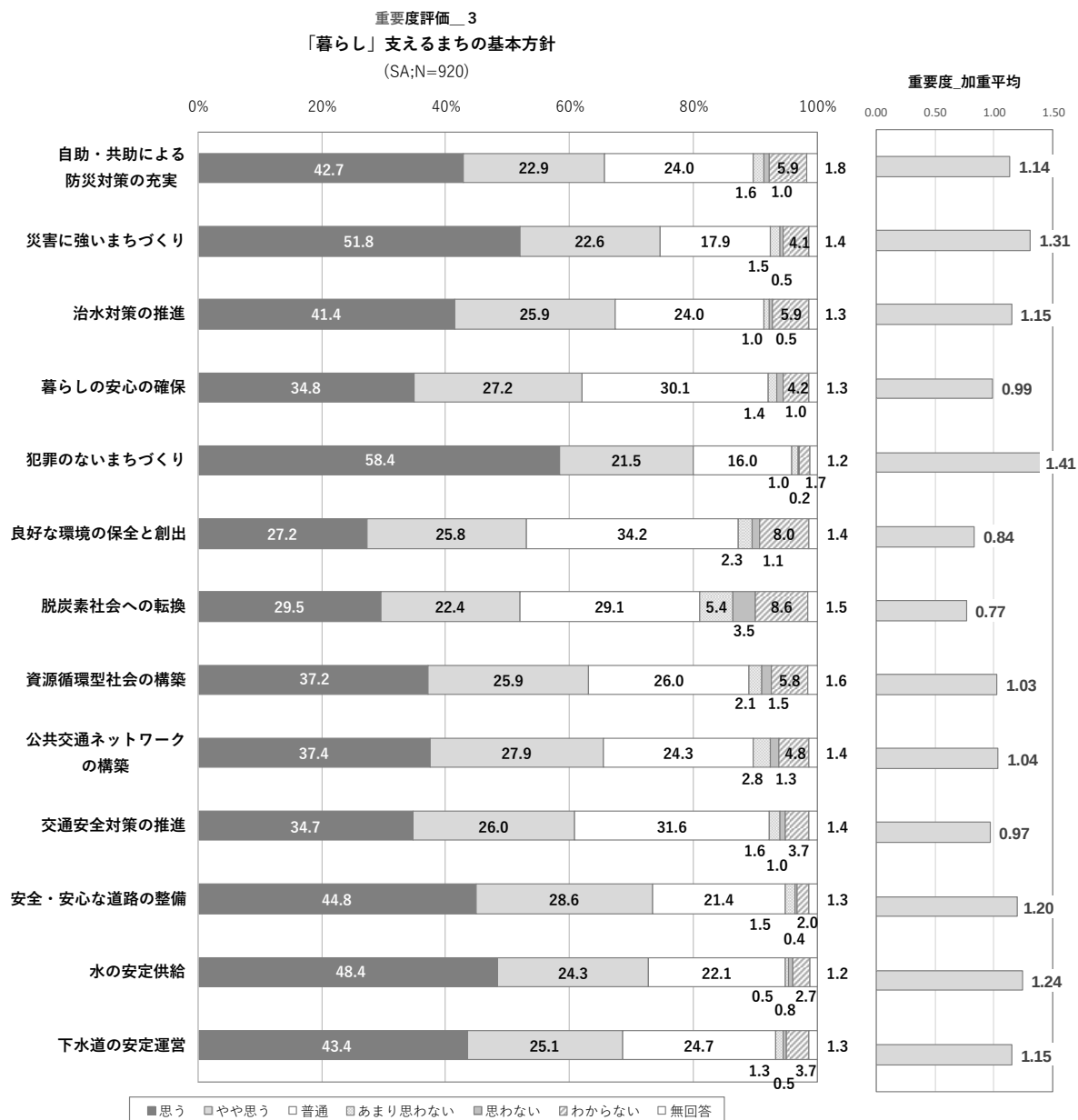
「やや思う」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 28.6%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 27.9%などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 34.2%、次いで「交通安全対策の推進」が 31.6%などとなっています。

「あまり思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 5.4%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 2.8%などとなっています。

「思わない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 3.5%、次いで「資源循環型社会の構築」が 1.5%などとなっています。

「わからない」は「脱炭素社会への転換」が最も多く 8.6%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 8.0%などとなっています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

「思う」は「都市と住環境の質・魅力向上」が最も多く 27.6%、次いで「農業の振興」が 26.7% などとなっています。

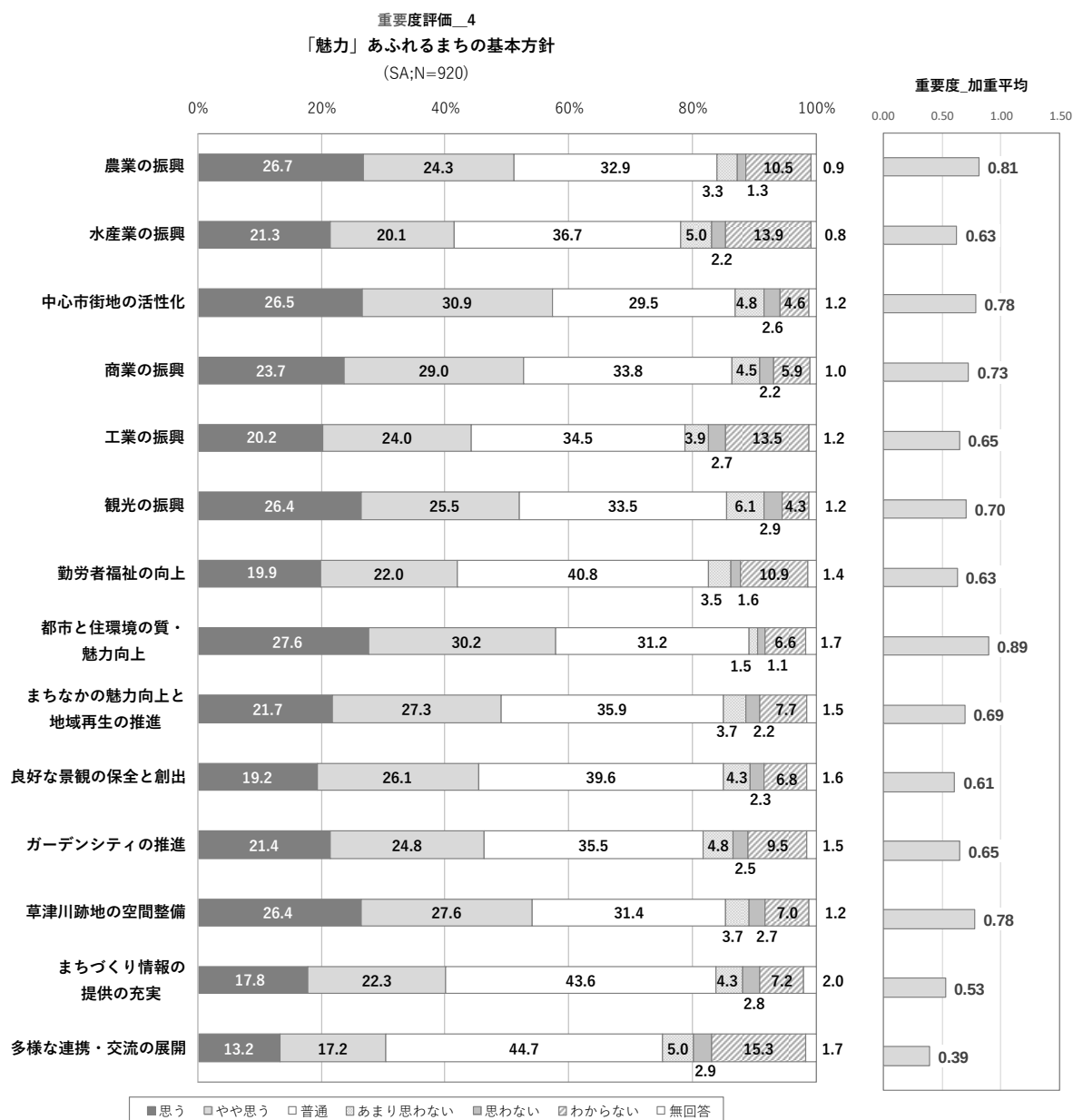
「やや思う」は「中心市街地の活性化」が最も多く 30.9%、次いで「都市と住環境の質・魅力向上」が 30.2% などとなっています。

「普通」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 44.7%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」が 43.6% などとなっています。

「あまり思わない」は「観光の振興」が最も多く 6.1%、次いで「水産業の振興」と「多様な連携・交流の展開」が 5.0% などとなっています。

「思わない」は「観光の振興」と「多様な連携・交流の展開」が最も多く 2.9%、次いで「まちづくり情報の提供の充実」が 2.8% などとなっています。

「わからない」は「多様な連携・交流の展開」が最も多く 15.3%、次いで「水産業の振興」が 13.9% などとなっています。



⑤「未来」への責任の基本方針

「思う」は「市民から信頼される市政運営」が最も多く 37.5%などとなっています。

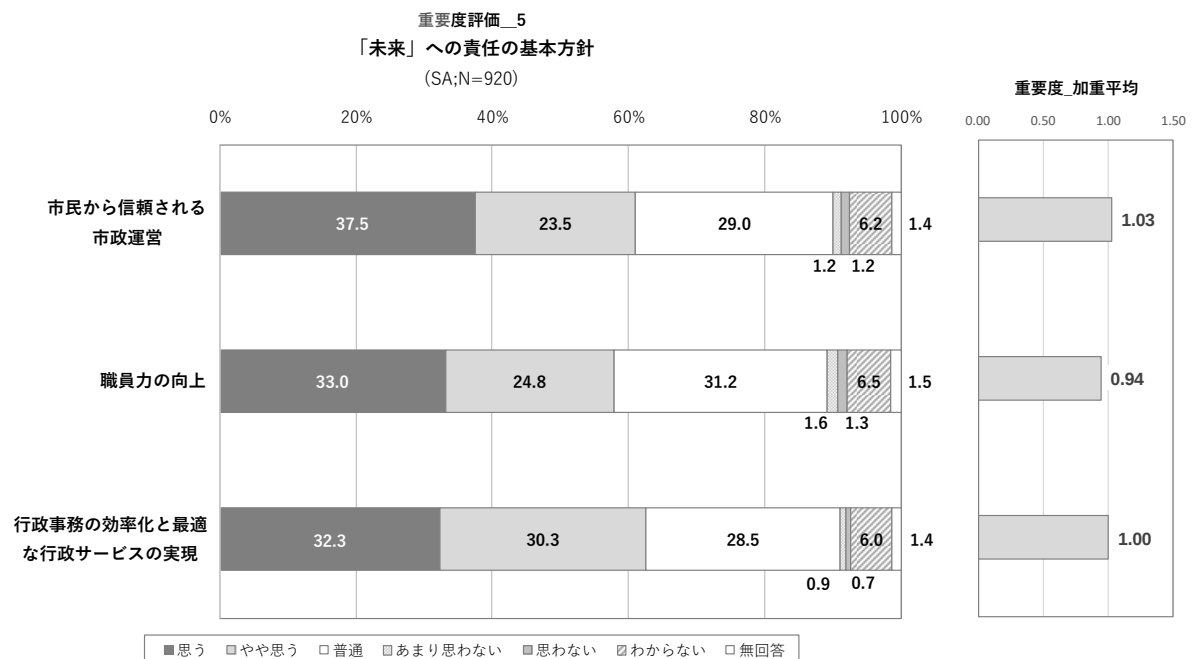
「やや思う」は「行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現」が最も多く 30.3%などとなっています。

「普通」は「職員力の向上」が最も多く 31.2%などとなっています。

「あまり思わない」は「職員力の向上」が最も多く 1.6%などとなっています。

「思わない」は「職員力の向上」が最も多く 1.3%などとなっています。

「わからない」は「職員力の向上」が最も多く 6.5%などとなっています。

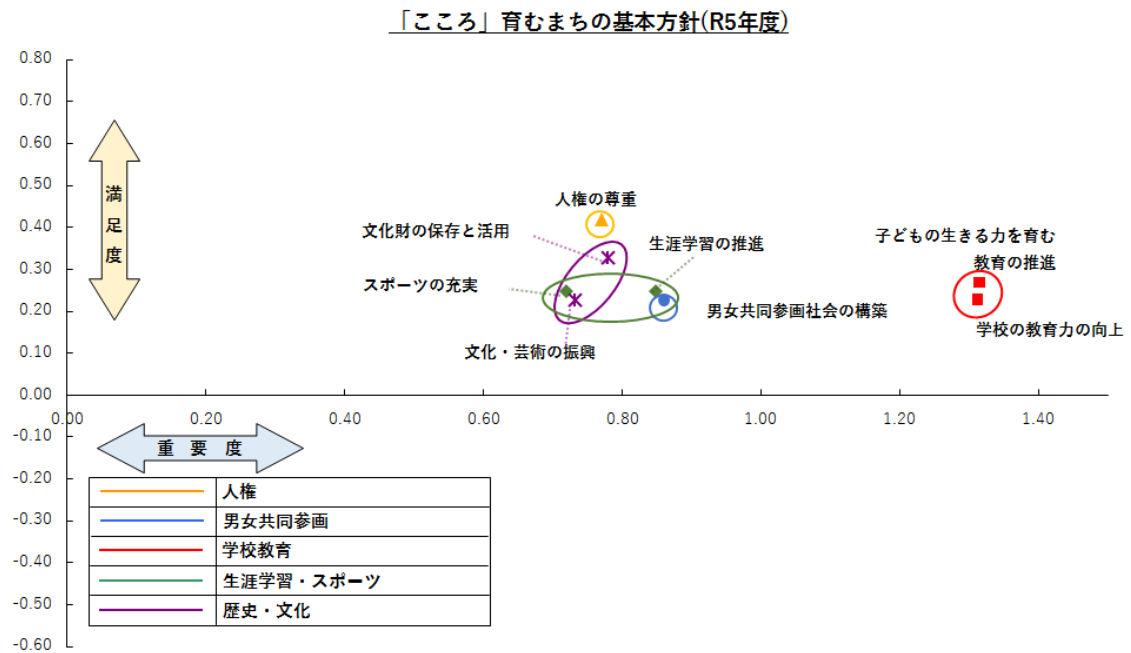


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

①「こころ」育むまちの基本方針

「こころ」育むまちの基本方針のうち、「学校の教育力の向上」の分野は他の分野と比較し、重要度が最も高いですが、満足度はあまり高くありません。

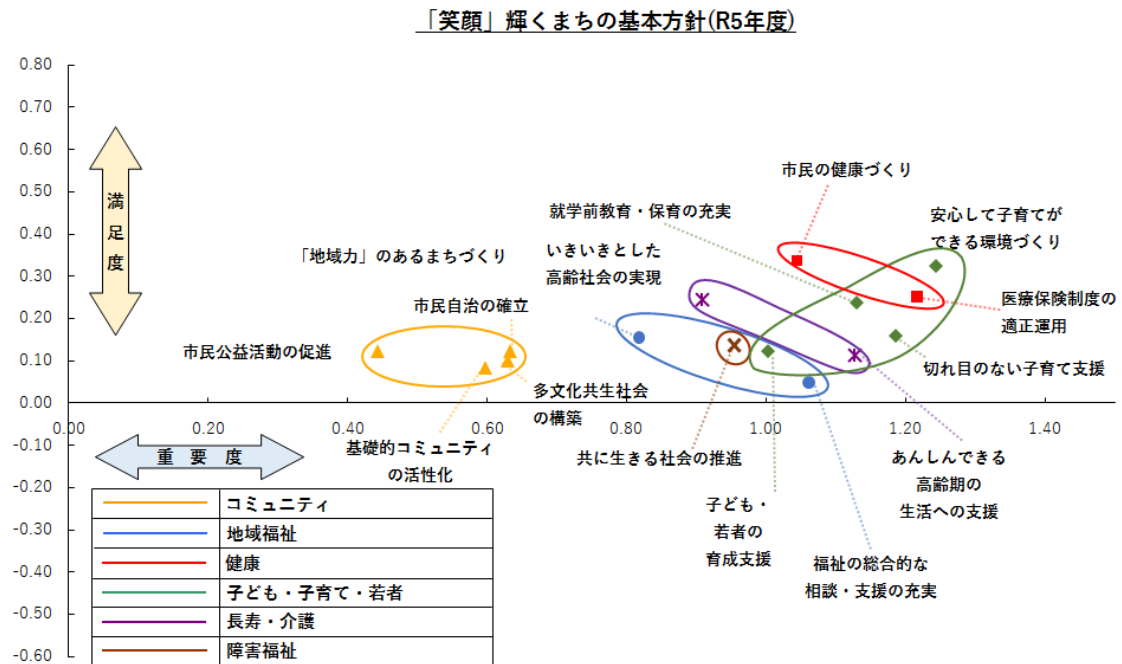
また「生涯学習・スポーツ」の分野では、満足度があまり高くありません。



②「笑顔」輝くまちの基本方針

「笑顔」輝くまちの基本方針のうち、「子ども・子育て・若者」の分野では、他の分野と比較して重要度が高くなっているのに対し、満足度はあまり高くありません。特に育成や支援の分野の満足度が低くなっています。

「健康」の分野は満足度・重要度ともに高くなっているのに対し、「コミュニティ」の分野は満足度・重要度ともに低くなっています。

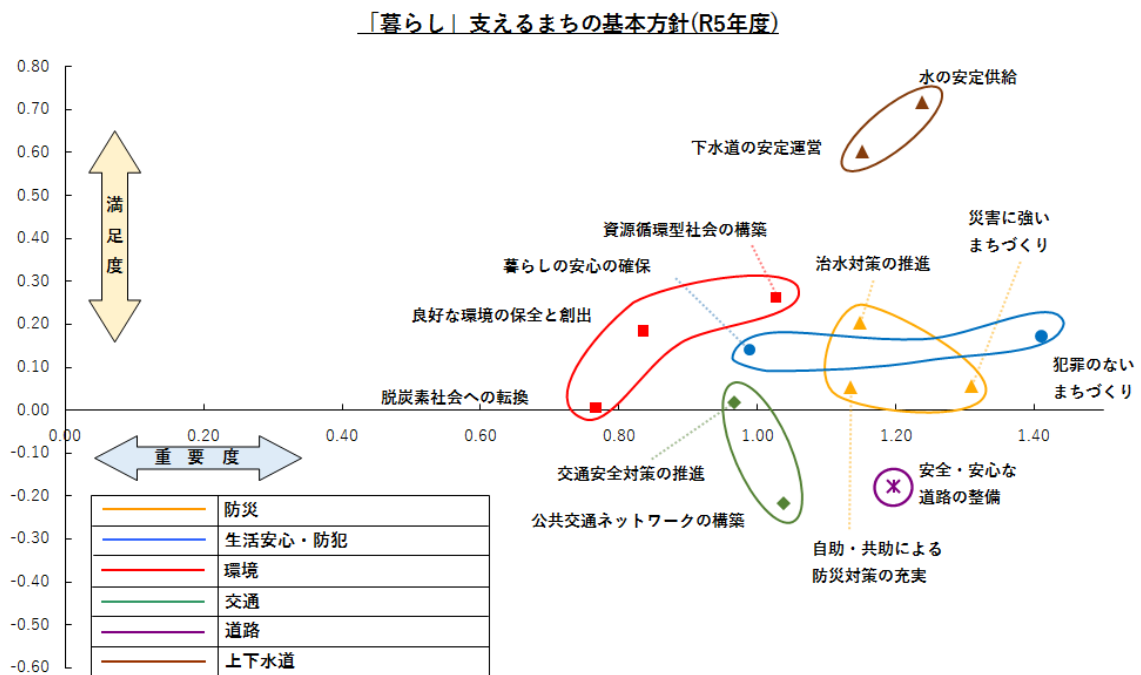


③「暮らし」を支えるまちの基本方針

「暮らし」を支えるまちの基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度が他の分野よりかなり高くなっています。

一方、「防災」の分野は、重要度が高いにもかかわらず、満足度は、あまり高くありません。

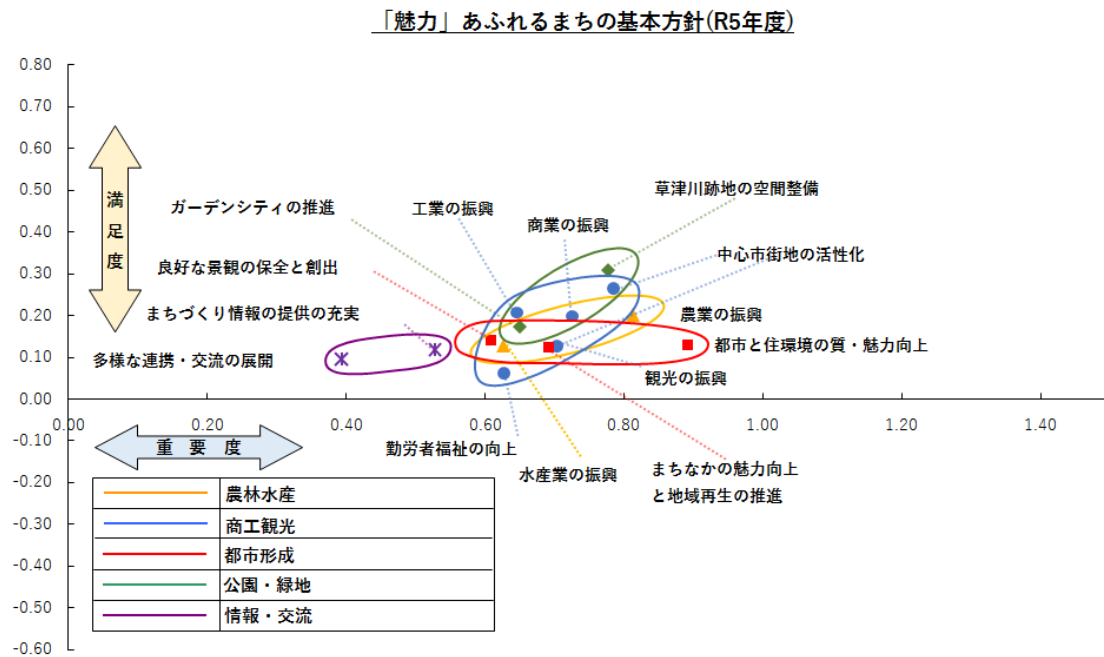
「交通」と「道路」の分野は、満足度がマイナスを示しています。



④「魅力」あふれるまちの基本方針

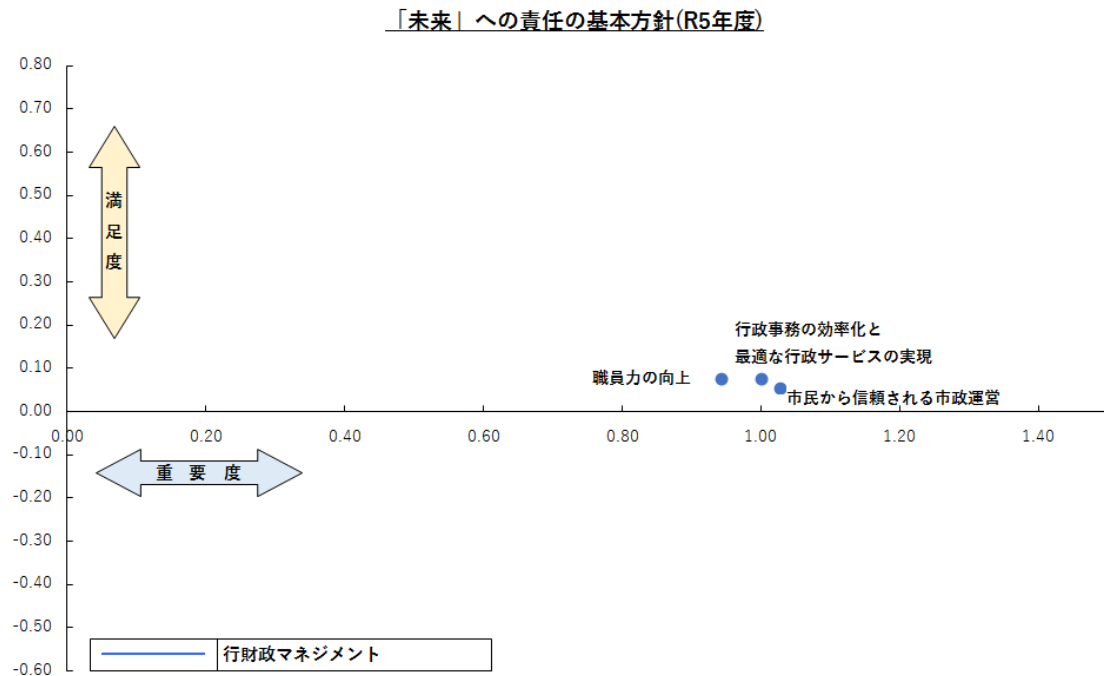
「魅力」あふれるまちの基本方針のうち、「公園・緑地」の分野では満足度が高く、「都市形成」の分野では満足度がかなり低くなっています。

「情報・交流」の分野では満足度、重要度ともに他の分野と比べてかなり低くなっています。



⑤「未来」への責任のための基本方針

「市民から信頼される市政運営」では重要度が高いのに対して満足度がかなり低くなっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動など

①まちの住み心地など

「そう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 46.7%、次いで「買物をする環境が整っている」が 37.3%などとなっています。

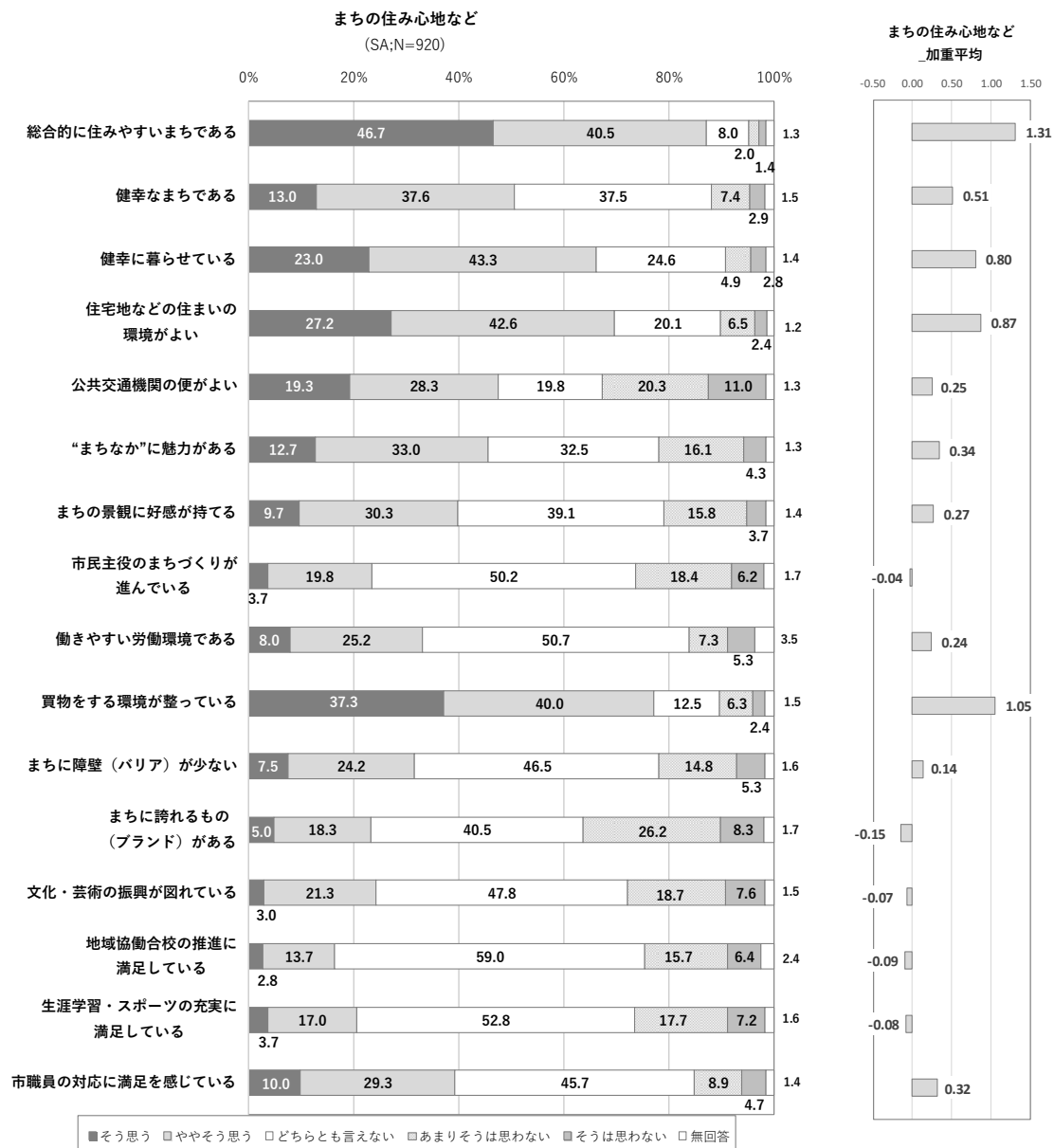
「ややそう思う」は「健幸に暮らせている」が最も多く 43.3%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 42.6%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地域協働学校の推進に満足している」が最も多く 59.0%、次いで「生涯学習・スポーツの充実に満足している」が 52.8%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 26.2%、次いで「公共交通機関の便がよい」が 20.3%などとなっています。

「そうは思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く 11.0%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が 8.3%などとなっています。

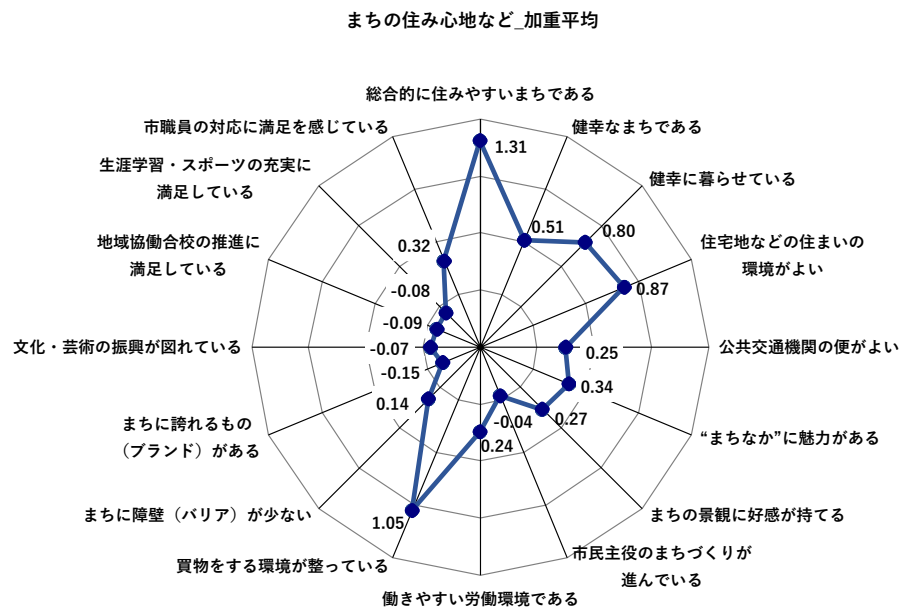
「総合的に住みやすいまちである」については、「そう思う」が最も多く 46.7%、次いで「ややそう思う」が 40.5%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「地域協働合校の推進に満足している」「生涯学習・スポーツの充実に満足している」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

②日常の生活行動など

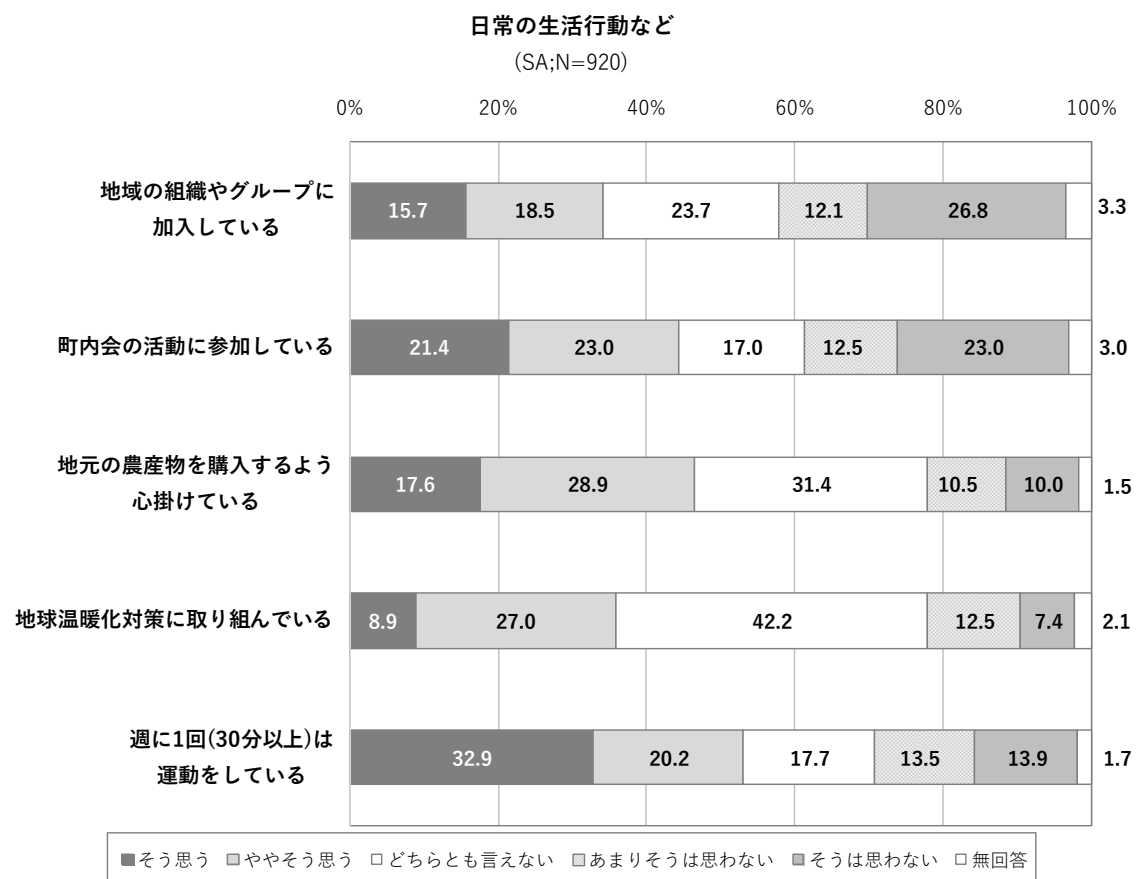
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く 32.9%、次いで「町内会の活動に参加している」が 21.4%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心掛けている」が最も多く 28.9%、次いで「地球温暖化対策に取り組んでいる」が 27.0%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く 42.2%、次いで「地元の農産物を購入するよう心がけている」が 31.4%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く 13.5%、次いで「町内会の活動に参加している」と「地球温暖化対策に取り組んでいる」が 12.5%などとなっています。

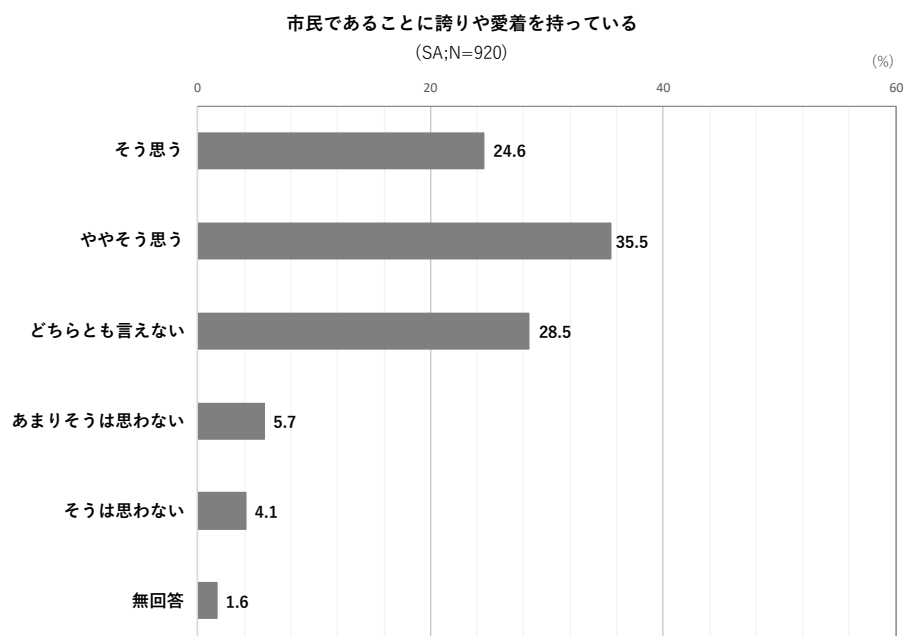
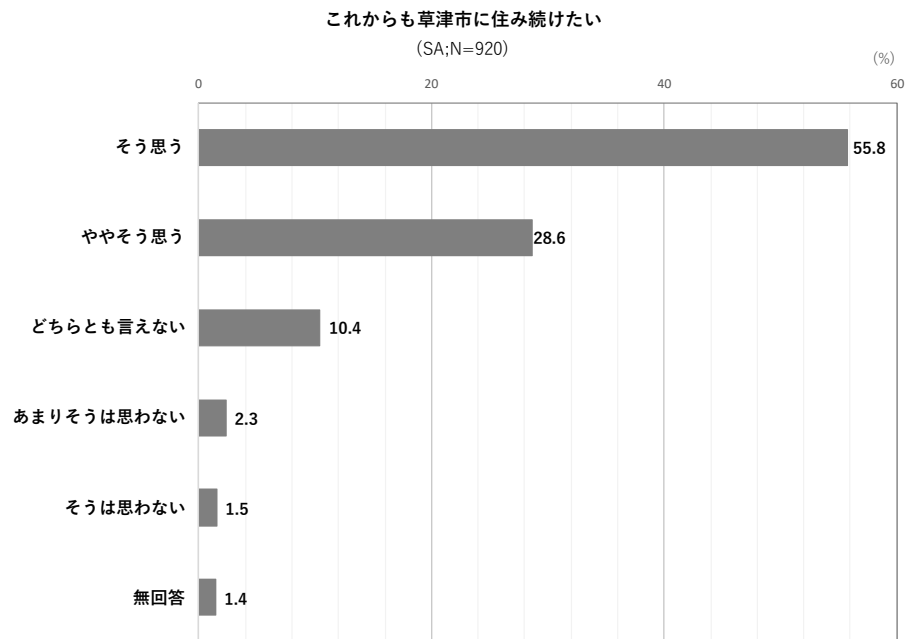
「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く 26.8%、次いで「町内会の活動に参加している」が 23.0%などとなっています。



③市民であることの誇りや定住意向

「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く 55.8%、次いで「ややそう思う」が 28.6%などとなっています。

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「ややそう思う」が最も多く 35.5%、次いで「どちらとも言えない」が 28.5%などとなっています。



（６）ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）

ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の１７の目標への関心

「すべての人に健康と福祉を」が最も多く 15.3%、次いで「住み続けられるまちづくりを」が 13.9%、「質の高い教育をみんなに」が 8.0%などとなっています。

